

製品名: Bcl-XL ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21520**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:26kD;Observed MW:30kD

抗原情報

遺伝子名	BCL2L1
別名	BCL2L1;BCL2L;BCLX;Bcl-2-like protein 1;Bcl2-L-1;Apoptosis regulator Bcl-X
遺伝子 ID	598.0
SwissProt ID	Q07817
免疫原	ヒト Bcl-XL の合成ペプチド

背景

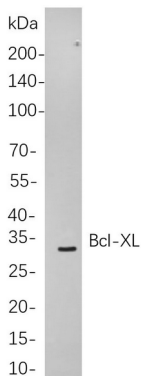
細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質は BCL-2 タンパク質ファミリーに属する。BCL-2 ファミリーのメンバーはヘテロ二量体またはホモ二量体を形成し、多様な細胞活動に関与するアポトーシス抑制因子またはアポトーシス促進因子とし

て作用する。この遺伝子によってコードされるタンパク質はミトコンドリア外膜に局在し、ミトコンドリア外膜チャンネル (VDAC) の開口を制御することが示唆されている。VDAC はミトコンドリア膜電位を制御し、ミトコンドリアからの活性酸素種の産生とシトクロム C の放出を制御する。これらはいずれも細胞アポトーシスの強力な誘導因子である。選択的スプライシングにより、2つの異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。長い方のアイソフォームはアポトーシス抑制因子として、短い方のアイソフォームはアポトーシス促進因子として作用する。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]

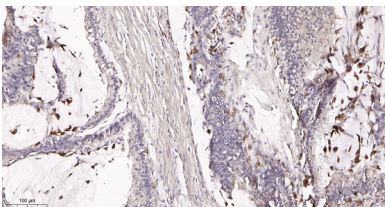
研究分野

-

画像データ



3T3-L1 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (Bcl-XL ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。1、Bcl-XL ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晩)。2、抗体賦活化には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。